

2021年4月22日
日本ガス協会

日本ガス協会 本荘会長 会見発言要旨

1. はじめに

都市ガス業界は、ガス小売全面自由化後のエネルギー間競争と新型コロナウイルス感染症への対応に全力を傾けながら、まさに脱炭素社会の実現に貢献するための挑戦に踏み出したところである。

3月18日の日本ガス協会会長交代会見の折には、「お客さま」「社会」、そして「都市ガス事業者」が満足する、つまり「3方よし」となるよう全力を傾けていくと申し上げた。

この「3方よし」は中世から近代にかけて活躍した近江商人の心得であり、「買い手よし」、「売り手よし」、「世間よし」として広く知られている。これは売り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手も満足し、さらにビジネスを通じて地域社会の発展にも貢献しなければならないという考えであり、現在のCSRやSDGsにも通ずるところがあると思う。

我々ガス業界も、自由化への対応、カーボンニュートラルや地域活性化の取り組みを通じて、お客さまへの様々なサービスの提供や、社会全体への課題解決にも広く貢献し、信頼を勝ち取ってこそ、はじめて持続的な成長につながるのではないかと、という思いから述べさせていただいた。同じ関西出身ということもあり、この心得を肝に銘じながら、誠心・誠意、努力してまいりたい。

1. 2021年度のスタートにあたって

昨年10月に菅首相が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す」旨を宣言され、ガス協会も「これに積極的に対応する」ことを表明した。

また、この3月には資源エネルギー庁より「ガス事業の在り方研究会」

の中間とりまとめが行われ、今後のガス事業者、ガス業界の進むべき方向、方針等が示された。

このような「持続可能な社会」に向けた大きな変革のなか、2021年度は、ガス事業が将来に亘る発展に向け、新たな一步を踏み出す1年にしていきたい。

足元では、国において2030年における温室効果ガス削減目標の上積みに向けた見直しが進められていると認識している。

ガス業界としては、徹底した天然ガスシフトや天然ガスの高度利用を通じ、即効性があり、確実なCO₂削減と省エネを進めることで、2030年の削減目標の達成に貢献していきたい。

天然ガスの利用促進の後押しとなる制度・政策も活用し、時間軸を踏まえ、トランジション期での累積CO₂を低減していくとともに、2050年に向け、メタネーション等によるガスのカーボンニュートラル化にも取り組んでいく。

2. 2021年度 日本ガス協会事業計画

業界を取り巻く環境を見ると、低炭素化や将来のカーボンニュートラルの実現、レジリエンスの強化、地方創生への貢献など、持続可能な社会の実現に向け、ガス事業への期待は高まっている。

また、第6次エネルギー基本計画の策定、地球温暖化対策計画の見直し等、政府におけるガス事業に関連する政策・制度議論も進展している。

一方、会員事業者においては、コロナ影響に加え、社会の様式の変化、さらには大手3社における導管部門の法的分離が来年4月に迫っており、経営形態の多様化が進むこととなる。

このような中、ガス協会としては、「ガス事業の将来に亘る発展に向けた新たな一步を踏み出すべく、低・脱炭素化、レジリエンス強化、地方創生等

に資する会員事業者の事業活動の支援を深化させるとともに、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた政策議論への参画やステークホルダーへの積極的な情報発信を通じたガス事業の位置付け向上に向けた取り組みを推進する。」という基本スタンスで臨んでいきたい。

具体的には次の5項目に取り組んでいく。1つ目は「レジリエンスの強化」。ガス安全高度化計画2030の着実な実行やスマート保安の具現化により、会員事業者の保安レベルの向上を支援する。また、コロナ禍での自然災害やサイバー攻撃への更なる対応力強化にも取り組む。

2つ目が、「カーボンニュートラル化に向けた取り組み」。2050年までのトランジション期間での累積CO₂を少しでも減らすべく、天然ガスシフトや天然ガスの高度利用を推進する。また、カーボンニュートラル化に向けた具体的なアクションプランの検討を進める。

3つ目が、「地方創生への貢献」。これまでは会員に対し、広く情報発信などを行ってきたが、今後は更に、有識者勉強会による地方創生に取り組むスキルの習得支援等、会員事業者が具体的に地域活性化に取り組むための支援も進めていく。

4つ目が、「情報発信や対外活動の充実化」。重点項目に関する情報発信や、政策・制度議論への関与といった対外活動の充実化を進める。

5つ目が、「組織基盤の整備・強化」。会員事業者の経営形態多様化に応じたガス協会の体制整備や、コロナ禍の経験を踏まえた、リモート手法の活用による、より効果的、効率的なコミュニケーションの実現などを図っていく。

以上の取り組みを進め、ガス協会の目的である「わが国の経済と国民生活の向上」、すなわち「3方よし」の実現を目指していく。

以上